

## 令和5年度 校内研修実施計画

### 1. 事業の目的

学校教育目標及び努力点の「確かな学力の向上」の具現化のため、その柱として校内研修を位置づける。児童の実態に応じた課題解決に努め、教師としての資質向上のため、研修活動を充実させ実践を進めることを目的とする。

### 2. 研修内容

#### (1) 研修主題

#### 主体的に考え、表現できる児童の育成

～少人数学級における表現力を高めるための効果的なICTの活用を通して～

#### (2) 主題設定の理由

令和2年度より全面実施となった学習指導要領の基本的な方向性として、「対話や議論を通じて自分の考えを根拠とともに伝えるとき、他者の考えを理解し自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりをもって多様な人々と協働したりしていくことができること」を育てたい姿の一つとして挙げている。そして、それらの実現のために単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこととしている。

本校では、令和2年度より「主体的に考え、表現できる児童の育成」を主題として継続して研修を行ってきた。昨年度は、「ICTの効果的な活用の視点を明確にした学習過程の工夫」をサブテーマとして、授業改善に取り組んだ。その結果として、ICT機器を使う場合とこれまでのアナログな教材や教具を使う場合の有効性の違いが少しずつ明らかになってきた。また、ねらいを達成するために有効なアプリの利用やタブレットを活用した宿題の出し方などで、児童が主体的に学習活動に取り組む姿がみられた。一方で、学習したことをアウトプットする場面でなかなか自分の考えをまとめられなかったり、交流場面で自分の意見を言うだけにとどまり、意見の交換および考えの深まりがみられなかったりするなど児童の表現力において課題がみられた。今年度はさらに児童数が減少し、五学級のうち三学級が一人学級であるため、児童同士の交流がない場合の表現力の向上は課題であるといえる。

そこで、今年度も「主体的に考え、表現できる児童の育成」を継続的な主題とし、超少人数学級の特徴を踏まえた効果的なICTの活用による指導方法を工夫することで、さらに主体的に考え、表現できる児童の育成を図ることができると考える。

#### (3) 研修のねらい

各教科・領域において、表現力を伸ばすためにICTを効果的に活用することで、児童が主体的に考え、表現できるようになることを、実践を通して明らかにする。

#### (4) 研修の見通し

各教科・領域の学習において、児童の実態や教科・領域の特性に合わせて、学習過程の中にICTを効果的に取り入れることで、児童がより主体的に思考し、自分の考えを表現することができるであろう。

## (5) 研修の内容と方法

### ①研修の内容

#### (ア) 目指す児童の姿の明確化

- ・「主体的に考え、表現する」とは

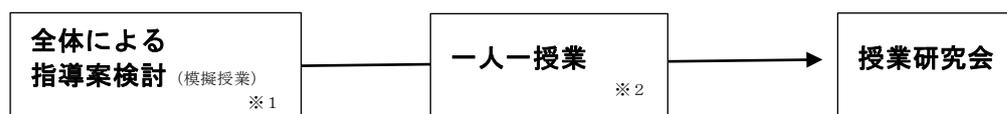
児童一人一人が内発的に学習への意欲をもち課題に対して子ども自身が授業の見通しを持ち、自力解決や集団解決に向かう姿を「主体的に考える」と捉える。

また、問いや目的、意図に沿った自分の考えを根拠となる理由を含めて、自分の言葉で説明できることを「自分の考えを表現する」と捉える。

#### (イ) ICTを取り入れた学習活動についての研修

#### (ウ) 授業実践

- ・一人一授業、指導案（略案）、授業研究会の充実



※1 授業者が設定する。

※2 平井CIOにも参観、指導いただく。

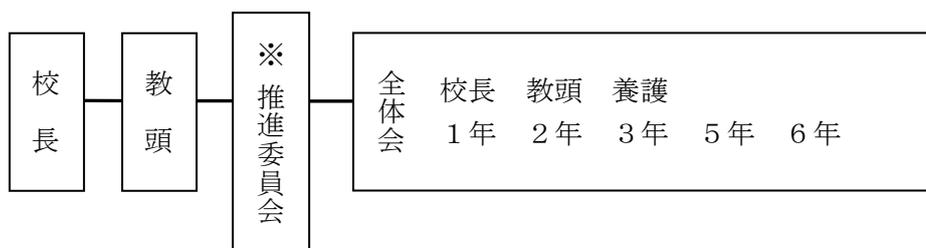
- ・一人一授業に向けての教材研究および指導案の作成・検討

#### (エ) 少人数学級のよさを生かした指導の工夫

### ②研修の方法

- ・文献や先行実践をもとに研修を進める。（「はばたく群馬の指導プランⅡ」等）
- ・計画訪問や一人一授業を計画的に行い、前回の授業の成果と課題を生かした積み上げのある授業づくりに取り組む。
- ・研究会への参加や、その報告等を通して共通理解を図る。
- ・ICTに関する日常的なOJT研修

## 3.研修組織



※ 推進委員会・・・校長、教頭、教務主任、校内研修主任

#### 4.研修計画

回	日にち	主な内容		
1	4/10 (月)	校内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修主題・内容と方法等の検討</li> <li>・学力向上計画について</li> <li>・家庭学習の手引きについて</li> </ul>	
2	4/24 (月)	平井C I O来校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平井C I Oに授業を参観いただき、面談にてご指導いただき、授業改善につなげる。</li> <li>・授業参観シートに授業についてまとめ、蓄積する。</li> </ul>	
3	5/31 (水)	小中合同研修		
4	6/1 (木)	平井C I O来校		
5	6/19 (月)	平井C I O来校		
6	6/23 (金)	計画訪問		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員、指導案（全案）を基に授業</li> <li>・授業力の向上</li> </ul>
7	7/12 (水)	小中合同研修		
8	7/13 (木)	平井C I O来校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平井C I Oに授業を参観いただき、面談にてご指導いただき、授業改善につなげる。</li> <li>・授業参観シートに授業についてまとめ、蓄積する。</li> <li>・一人一授業の指導案を検討、授業を教員同士で参観し合う。</li> <li>・全国学力学習状況調査の結果分析を行い、指導に生かす。</li> </ul>	
9	9/11 (月)	平井C I O来校		
10	10/23 (月)	小中合同研修		
11	10/24 (火)	平井C I O来校		
12	11月上旬	全学調の結果分析		
13	11/20 (月)	平井C I O来校		
14	12/12 (火)	平井C I O来校		
15	12/11 (月)	小中合同研修		
16	1/29 (月)	平井C I O来校		
17	2/19 (月)	小中合同研修		
18	2/20 (火)	平井C I O来校		
19	3/7 (木)	平井C I O来校		
20	3/11 (月)	校内研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の研修のまとめ</li> <li>・次年度に向けた方針の策定</li> </ul>